

平成 29 年度 南九州大学 FD 講演会 実施報告

FD 推進委員会

日 時：平成 29 年 9 月 19 日（火）13:00～15:00

テーマ：アクティブ・ラーニング ファシリテーション研修

講 師：八木亜紀子氏（開発教育協会 DEAR 事業主任：東京）

参加者：37 名

事後アンケート結果概要（集計 28 名分）

〈質問 1〉本研修会に参加し、満足しましたか？（該当する番号に○をお書きください）

（①満足した 10 ②やや満足 14 ③やや不満 4 ④不満 0 ）

〈質問 2〉本研修会の内容は、理解できましたか？（該当する番号に○をお書きください）

（①理解できた 21 ②どちらでもない 7 ③理解できなかった 0 ）

〈質問 3〉本研修会に参加し、気付いたことや発見したことはありましたか？

- ・アクティブ・ラーニングを取り入れたい、研修会の方法を活用したい （10）
- ・先生同士の話し合い（交流）が良かった、こんなやり方があるんだと学べた （7）
- ・先生方の抱えている問題（課題）に共通する部分が多いことを知った （3）
- ・その他（楽しかった、TV 会議式はわかりにくい、など）、無記入 （8）

〈質問 4〉これからやってみたいこと、実践してみたいことはありますか？

- ・アクティブ・ラーニングを（一部でも）授業に取り入れたい （14）
（ブレインストーミング、部屋の四隅、グループワークなどの対話型授業など）
- ・他の教員の取り組みを参考に、まず授業の中でできることを実践したい （7）
（小テスト、質問カード、授業中定期的に学生に質問する、理解しやすい資料作成）

〈質問 5〉FD 研修会を今後も開催するとすれば、どのような時期にどのような内容の講演を期待されますか？

- 時期：今と同様で良い（8～9月の前期試験終了後～後期授業開始前） （18）
- テーマ・ALの実践例の紹介等、授業法の最新ノウハウ、参加型授業実例 （10）
 - ・他大学におけるFD活動について事例を交えた研修（講義） （3）
 - ・発達障害のある学生への配慮の具体例 （1）
 - ・本学教職員間での様々な問題（学生指導、学生支援、リメディアル教育）についての意見交換、議論 （1）

〈質問 6〉その他、何かご意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください。

ALについて

- ・もう少し基本からの講義を聞きたかった、ALの定義を共有する時間が欲しかった
 - ・ALと教える量（標準的な大学のレベル）をいかに調整するか気になる
 - ・参加されていない先生方とも共通したい内容。学部学科での取組み必要ではないか
- その他
- ・体験型の研修で楽しかった / 良い研修だった
 - ・2時間完結型が良かった / 2時間はちょっと長過ぎ
 - ・お茶とお菓子が嬉しかった

「アクティブ・ラーニング active learning」に関する情報提供

1) アクティブ・ラーニングの定義

・2012年中教審の答申

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等によっても取り入れられる。

・「能動的学習」「積極的学習」「主体的学習」とも言われる。

2) アクティブ・ラーニング導入期に用いられる参加型学習について

アクティブ・ラーニングは教育パラダイムの大きな転換であり、講義中心の一方向的教授法から学習者の主体的学びを引き出すために、学生と教員の双方が主体的に関わり合い、対話していく教育スタイルが重要となる。そのためには、教員自身がファシリテーターであり、コーチであることを自覚する必要がある。また、この「対話」は、学生間で、あるいは教室以外の場所で出会った人々と、Teach、Coach、Facilitation、Communication等の方法によって促進される。参加型学習は、このような学びを生み出す有効な方法である。

出典：入江詩子.アクティブ・ラーニング導入期における参加型学習の役割.
地域総研紀要 2015;13(1):23-34.

3) その他の参考資料

- ・開発教育協会 DEAR 参加型学習紹介サイト <http://www.dear.or.jp/activity/menu02.html>
- ・山地弘起.アクティブ・ラーニングの実質化に向けて-アクティブ・ラーニングとはなにか. 大学教育と情報 2014;146(1):2-7
- ・中部地域大学グループ・東海 A チーム アクティブラーニング失敗事例ハンドブック～産業界ニーズ事業・成果報告～2014.11.
- ・ロバート・チェンバース著 野田直人監訳『参加型ワークショップ入門』明石書店 2004

平成 29 年度 FD 推進委員会

【ファカルティ・ディベロップメント (FD)】

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催等を挙げることができる。なお、大学設置基準等においては、こうした意味でのFDの実施を各大学に求めているが、単に授業内容・方法の改善のための研修に限らず、広く教育の改善、更には研究活動、社会貢献、管理運営に関わる教員団の職能開発の活動全般を指すものとしてFDの語を用いる場合もある (文部科学省用語集)。